

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2809号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

8/12

平成20年
(2008)
(火曜日)
週刊

ファンケル物流C稼働

日立 物流 RFIDを大規模活用

日立物流(本社・東京、鈴木登夫社長)は十一日、千葉県柏市でファンケル関東物流センターを稼働させた。化粧品メーカー、ファンケル(本社・横浜市、成松義文社長)から3PL(サードパーティー・ロジスティクス)で受託した荷物を取り扱う。

出荷ラインにはRFID(無線ICタグ)を全面活用。「この規模でRFIDを使っている例は、ほかにないはず」

五日に行われた開所式で、日立物流の鈴木社長は「このセンターを建てる計画をつくってから二年半。道は決して平坦ではなかった。日立物流

は「建設から二年。この日を迎えられてこの上な喜びを感じる」とあいさつ。

ファンケルの成松社長も「このセンターを建てる計画をつくってから二年半。道は決して平坦ではなかった。日立物流

さんの全面的なバックアップにお礼を言いたい」と話した。



開所式でコンベヤーに最初の荷物を流す鈴木社長